

陸前高田発

月命日・一斉捜索

東日本大震災の発生から5年と2カ月の月命日。沿岸の被災地7か所で県警による行方不明者の一斉捜索が行われました。陸前高田市気仙町の高田松原にほど近いシーカヤックのマリーナ跡地では、大船渡警察署の警察官15人と建設会社のバックホーも出動し、泥をかき分け手がかりを探していました。県警によりますと県内では3月末現在、今なお1123人の行方が分かっていません。

(5/11 ニュースエコー)



盛岡発

仮設住宅の期間延長



東日本大震災の被災者が暮らす仮設住宅は、入居期間がさらに延長されます。応急仮設住宅の入居期間は原則2年以内ですが、被災の

規模が甚大であったことから、延長の措置がとられてきました。今回は災害公営住宅の整備や区画整理事業に時間がかかる陸前高田市など沿岸5つの市と町について、県と国の協議で入居期間を1年延長することが認められました。(5/12 ニュースエコー)

宮古発

「学ぶ防災」10万人

宮古市田老地区で、市から委託を受けたガイドが津波被害の状況などを伝える「学ぶ防災」の参加者が10万人を突破しました。「学ぶ防災」は震災翌年の2012年から始まりました。津波被害で鉄骨がむき出しになった震災遺構『たろう観光ホテル』で10万人突破のセレモニーが行われ、大阪から修学旅行で訪れた中学生に証明書と記念品が贈られました。(5/14 ニュース)



宮古発

たろう大漁まつり

宮古市田老で恒例の大漁まつりが行われ、浜は活気にあふれました。たろう大漁まつりは地元の神社の例大祭を発展させる形で40年ほど前に始まった恒例行事です。震災の年は中止になりましたが、復興とともに祭りの規模も元に戻ってきています。祭りのハイライトは漁船パレード。神輿に乗せた8隻の船が大漁旗を掲げ、湾内を巡りました。(5/15 ニュース)



遠野発

復興支援観光ツアー



東日本大震災からの復興を観光面から支援しようと、東京からのツアー客が2泊3日の日程で岩手を訪れました。岩手を訪れたのは東京

の城南信用金庫の顧客らで作る「友の会」のメンバーなど一行240人で、盛岡信用金庫の呼びかけに城南信用金庫が応える形で実現しました。ツアーは2つのコースにわかれ、宮古市・浄土ヶ浜での観光や三陸鉄道の乗車など沿岸を中心に巡りました。

(5/17 ニュースエコー) (写真:遠野市での昼食風景)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの大久保暢子さんが、5月8日に陸前高田コミュニティホールで開催されたタイ映画「すれ違いのダイアリーズ」の完成披露試写会の様子を伝えてくれました。町の学校に通えない子供たちの為に建てられた山奥の湖に浮かぶ水上学校を舞台にした映画で、日本語版では子供たちの吹き替えを今年3月で廃校となった横田中学校・横田小学校の子供たちが担当しています。この映画は全国で順次上映されることになっています。(5/18)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
 詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
 IBC復興支援室事務局 019-623-3122